伊勢えび

マンセル値: 6.8R5.5/14 カラーコード: #ee5145 CMYK: 1,84,76,0 RGB: 238,81,69



画像:御宿町

色の特徴と使い方

この色は、極めて鮮やかで彩度が高くとても目を引く色です。 ゴールドやシルバーと合わせるとさらに華やかさを演出でき ます。落ち着いた色や明るめで彩度の低い色と合わせたり、 アクセントとして小さい面積に使用すると効果的です。

御宿と色の関係

岩和田、浜地区にある2つの漁港では伊勢えび、鮑、金目漁が盛んです。千葉県のなかでも力強く流れる黒潮の海流に耐える御宿町の伊勢えびは、大振りで、身が引き締まり、甘みの強さが特徴です。毎年10月ごろに「伊勢えび祭り」が開催されます。

ペア駱駝

マンセル値: 10R4.5/11 カラーコード: #bd4a1d CMYK: 19,83,100,8 RGB: 189,74,29



画像:小川いずみ(@komaii op)

色の特徴と使い方

少し黄みがかった暖色系の重厚感のある色です。自然界のグリーンや濃い茶色と合わせたり、マットな素材に使用すると落ち着いたイメージになります。温かみのある動物の毛並みを想像させますが、金属などの光沢のある素材に使うとアクセント効果が期待できます。

御宿と色の関係

作曲家「加藤まさを」さんが、御宿町の海岸から着想を得て作曲した「月の沙漠」に関する資料などを展示する「月の沙漠記念館」。その前に佇む月の沙漠記念像(ラクダ)は、駅から歩いて行ける場所に位置する名スポットです。

メキシコ太陽

マンセル値: 5YR6.5/13 カラーコード: #fd7e00

> CMYK: (%1) RGB: 253,126,0



画像:おんじゅくの暮らし

色の特徴と使い方

この色は、楽しげで親しみやすい、健康的なイメージを持つ温かいオレンジ色です。太陽のようなエネルギーを感じさせるビタミンカラーの一つともされます。補色となる青系ともよく合いますが、グリーン系の色と合わせると若々しい印象になります。

御宿と色の関係

御宿町は日本・メキシコ・スペインと三国の交流発祥の地。1609年(慶長14年)、フィリピンからメキシコへと向かう途中だったサン・フランシスコ号が御宿町にある田尻海岸で沈没。海女が救助を行い、このことから三国の交流が始まりました。"御宿町の人"を象徴するような"あたたかさ溢れる太陽"を、「日・西・墨三国交通発祥記念之碑」のあるメキシコ記念塔から眺めることができます。

っき さばく 月の沙漠

マンセル値: 5Y8/14 カラーコード: #ffbe00 CMYK: 0,27,100,0 RGB: 255,190,0



画像:小川いずみ(@komaii_op)

色の特徴と使い方

この色は明度が高く、華やかさを演出したいときには最適で す。菜の花や月見草などの花も連想されます。補色となる青 紫系の色や落ち着いた茶色をベースとしてアクセントカラー として使用すると際立ちます。グリーンやオレンジなどの類似 色と配色すると可愛らしく仕上がります。

御宿と色の関係

御宿町の海岸線は三日月のような曲線を描いており、月夜に 照らされるその曲線の砂丘は美しい砂漠のような景色です。 このような景色から名曲「月の沙漠」が生まれました。御宿海 岸には「月の沙漠記念館」があり「月」の色がイメージされます。

初夏グリーン

マンセル値:2.5G8.5/2.5 カラーコード: #cadbcf CMYK: 20,6,19,0 RGB: 202,219,207



画像:小川いずみ(@komaii_op)

色の特徴と使い方

孔雀(くじゃく)石から作られる日本画の絵具として白緑(びゃくろく)と呼ばれてきた色です。新緑の芽生えや爽やかな風を感じるやさしい色で、濃い深い緑や樹木の焦げ茶との組み合わせ、白やベージュ、明るいグレーと合わせるととても上品な配色になります。タイルや塗装など艶感のある仕上げにもよく合います。

御宿と色の関係

御宿町には海だけでなく優しい里山が広がります。6月ごろには蛍の幻想的な舞いが見えるスポットもたくさん。中山間地域を活用する野菜作りや稲作、酪農などの農業も盛んです。こちらの画像はそんな里山エリアに佇む春日神社の新緑です。御宿の里山には初夏のやさしい緑が広がります。

サボテン

マンセル値: 3.5G4.5/7 カラーコード: #357c4c CMYK: 80,29,85,15 RGB: 53,124,76



画像:東南風の製造場

色の特徴と使い方

深みのある常緑樹の葉のような落ち着いた緑色です。夏の風を感じさせる薄いブルーともよくマッチします。群青色やダークグレーと合わせたり、白をベースに強調色として使用するのもよいでしょう。明るいグリーンと合わせると自然の生命力を感じる配色になります。

御宿と色の関係

御宿町海岸入口にあるサボテンのモニュメントです。日本・メキシコ・スペインの三国交流発祥の地を象徴しサボテンが模られています。御宿の町中を歩くとその歴史や文化を象徴するモニュメントにときたま出会うことができます。

あじろわん はるがすみ網代湾の春霞

マンセル値: 9B7.5/5.5 カラーコード: #95c0ec CMYK: 39,14,0,0 RGB: 149,192,236



画像:おんじゅくの暮らし

色の特徴と使い方

さわやかに晴れた空の色を思わせる薄く明るいブルーです。 同系色の藍色や白と合わせて清涼感を演出できます。また薄 いベビーピンクと合わせると優しく華やいだイメージに、黄緑 色やベージュと合わせて明るくナチュラルなイメージも表現 できます。

御宿と色の関係

網代という名称は和歌山県にある現在の日高郡由良町網代の地名が由来です。御宿の周辺地域は和歌山県から船で辿り着き漁文化とともに定住者が増えて行くことで繁栄しました。御宿町の隣、勝浦市も同様で、地域には和歌山県にある地名から由来する「勝浦」「白浜」などの地名が残っています。網代あわびが有名な網代湾、北条時頼の和歌にも詠われたといわれています。

サーフィン

マンセル値: 10B4/14 カラーコード: #0067c0 CMYK: (※2)

RGB: 0,103,192



画像:小川いずみ(@komaii_op)

色の特徴と使い方

青色は世界中の多くの人々から愛されている人気のある色です。寒色系の色のため、暑い夏には清涼感を感じたり、心が落ち着き安らかになる鎮静効果も期待できます。また食欲を抑える色ともされます。グリーンやパープル、グレーと合わせても美しい配色を楽しめます。

御宿と色の関係

御宿の海岸は、1年中サーファーが集うエリアです。外房エリアではありますが、穏やかな波の日も多く初心者も楽しめます。駅からも歩いて行けるビーチのため電車サーファーにも人気です。

なっ なぎ 夏 凪

マンセル値: 3PB5/11 カラーコード: #3d7cce CMYK: 76,48,0,0 RGB: 61,124,206



画像:おんじゅくの暮らし

色の特徴と使い方

紫がかった青であるこの色は、夏の時期の静かな深い海の濃い青をイメージできます。明度を変えての同系色のグラデーション配色は、自然の海や空を感じさせます。ピンク色や黄緑色を合わせてポップなイメージの配色にも使えます。

御宿と色の関係

夏の凪の海の青。そしてさまざまに変化を見せる海の青を御宿町の住民は「おんじゅくブルー」と呼び、その色合いや景色を楽しんでいます。海を愛する人が集まり、暮らす町らしい楽しみ方ですね。季節や天候により様々に変化する海の色、夏は透き通った青が広がります。

** 海女ブルー

マンセル値:7.5PB3.5/11 カラーコード:#414fa3 CMYK:86,79,0,0 RGB:65,79,163



画像:東南風の製造場

色の特徴と使い方

濃い青紫であるこの色は、古くから藍染の文化のある日本では群青色と呼ばれ親しまれてきた色です。衣類などでの群青色と白の組み合わせは伝統的な配色です。これに紅緋色をアクセントに加えると和風で粋な配色になります。

御宿と色の関係

御宿町は、伊勢志摩、能登と並んで過去「日本三大海女地帯」 の一つに数えられていますが、現在は海女(女海女)は1人も いません。当時の海女が着用する"かすり"の色には群青色の ような青などが使用されているのが特徴的です。御宿町の写 真家岩瀬禎之氏が1931年~1964年にかけて撮影した写真 集『海女の群像』では、失われゆく郷土の海女たちの生き生き とした姿が記録されています。

は 沙漠

マンセル値:2.5Y9.2/0.5 カラーコード: #f2e8ec CMYK: 4,8,3,0 RGB: 242,232,236



画像:小川いずみ(@komaii op)

色の特徴と使い方

白い砂を思わせるこの色は、古くから使われてきた貝殻の粉末から作られる顔料の胡粉の色です。ほとんど色みは無く、とても明るい白に近い色のため、どんな色との相性も良く、ベースとして大きな面積に使うことができます。

御宿と色の関係

砂漠のような、さらさらした砂浜はウミガメが産卵しにくる ほど綺麗です。この白い美しい砂浜を保てるのは、御宿町の 住民が日常の暮らしのなかでビーチクリーンを行ってくれて いるからこそ。美しい自然をリスペクトしながら暮らす習慣が 御宿町にはあります。

ミヤコタナゴ

マンセル値: 10YR9/1 カラーコード: #f0e2e0 CMYK: 4,11,8,0 RGB: 240,226,224



画像:御宿町

色の特徴と使い方

生成り色と呼ばれ、少し黄みがかった自然で素朴な色合いです。飽きることのないおとなしい色のため建物の外装やインテリアにも多用されます。緑や茶色などと組み合わせてのナチュラルな配色にもよく合います。

御宿と色の関係

国の天然記念物に指定されるミヤコタナゴは御宿町で伝統的な稲作が行われているころは、多く棲息していました。現在では減少してはいますが、自然が保たれたエリアでは、今なお棲息しています。(2025.1.6現在)運が良ければ御宿の田んぼでミヤコタナゴを観ることができるかもしれません。